

診療所長 今月の二句

令和七年 七月

ぼせき

草いきれ 中で待ちたる 墓石かな

久々の墓参。郷里の墓は、荒れ放題。「お前が来るのを、ずっと待っていた。」と、言われているようでした。

らいめい

あわ

雷鳴に 淡き期待は 裏切られ

今日も夕方になると、遠くで雷の音。タ立が、ざーっとくれば、少しは涼しくなるでしょうに。今日も、だめでした。